

第 1 3 回

石和町、御坂町、一宮町 八代町、境川村、春日居町 合併協議会会議録

平成 1 6 年 1 月 1 9 日 開会

平成 1 6 年 1 月 1 9 日 閉会

第 1 3 回

石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会

平成 1 6 年 1 月 1 9 日

第13回 石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会

平成16年1月19日
午前10時00分開議
石和町スコレーセンター

第1 開 会

第2 会長あいさつ

第3 議 事

報告事項

報告第1号 総務・企画小委員会の審議経過について

報告第2号 合併準備室の設置について

報告第3号 その他

協議事項

協議第1号 慣行（市章、憲章等）の取り扱いについて

協議第2号 使用料及び手数料（総務・企画関係）の取り扱いについて

協議第3号 平成15年度歳入歳出予算の補正について

協議第4号 その他

第4 次回の協議会日程について

第5 その他

第6 閉 会

開会 午前10時00分

司会（中川啓次君）

委員の皆様方には、雪の中、大変ご苦労さまでございます。

本日の司会進行を務めさせていただきます、石和町役場の中川です。どうかよろしく願いいたします。

始めに、開会でございますので、相互にあいさつを交わしたいと思います。

恐れ入りますが、ご起立ください。

相互に礼。

よろしく申し上げます。

ご着席ください。

ただいまから、第13回石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会を開催いたします。

それでは、次第によりまして、会議を進めてまいります。

まず、会長あいさつを、協議会の会長であります荻野石和町長をお願いいたします。

会長（荻野正直君）

皆様、ご苦労さまでございます。

本日は、昨日からの雪で大変お足元の悪いところご苦労さまでございます。

出がけに聞きましたら、甲府の市内へ入るまでに1時間半くらいかかっているというふうな、大変に交通が渋滞しているようでございます。

そういう中にありまして、本日、合併協議会を開催いたしましたところ、大多数の委員の皆様方にご出席いただきまして、開催できることに對しまして感謝申し上げたいと思います。ありがとうございます。

年が改まりまして、既に今日は19日になるわけでありましてけれども、6町村の合併にとりましては、いわば詰めの段階にきたという状況でございます。

昨年の12月の協議会のときに、6町村の合併にかかわる確認書を締結いたしました。そして、年が改まりまして、いよいよ合併準備室が1月5日にスタートし、まさに10月12日に向けて、いよいよ大詰めに入ったという状況でございます。

この中にありまして、私はいくつか大きな悩みを抱えております。

八代町の町長さんの言葉を借りますと、「嫁に行く前にはきちっとお互いに身支度をするじゃないか」という言葉をいただいておりますけれども、まさにそのとおりでございます。特にその中にありまして、一番大きな課題は、皆様もご承知のとおり、ごみ処理の問題でございます。

この点につきましては、甲府市をはじめ9カ町村の中で、新しいごみ処理場の建設地を探そうということで、特に、この6カ町村の新市の中で対応する、その方向が一番、今強く取られているわけでございます。

いろんなご意見、いろんな主張がございますけれども、いままでのごみ処理の状況と違いまして、ずいぶん技術的に進歩しております。例えば、最終処分場の話を一つしましても、いままでは二重構造あるいは三重構造というような形で、安全性の確保をしたわけでありましてけれども、現在の主流は、既に最終処分場は五重の構造で造ろうというような状況になっておりますし、あるいは、ダイオキシンの話にしましても、高温で処理し、なおかつ、新しい清掃工場につきましては、排出する煙突の中にダイオキシンの測定の装置を造るというような、気の配りよりの状況でございます。

私どもが携帯電話を手にしたときに、「一体これはなんなんだ」と、驚いたと同じくらい、私は、

ごみ処理、環境問題については話が進んでいると理解しております。

それぞれの町村の中にありまして、この問題について再度ご理解をいただく中で、3月の末までに、この問題を解決したいと思っております。

皆様方にも、絶大なるご理解とご協力をお願い申し上げたいと思っております。

それから、もう1つは、新しい市が誕生するにあたりまして、大きな課題となりますのは新市の組織でございます。

新市の組織の基本的な考え方というのは、新しいあるべき形の組織をどうつくっていくかということが、この合併の中での行財政改革の大きな柱になると思っております。

いろんな情報が入ってきておりまして、既に合併した町村によりまして、例えば、6カ町村が一緒になる場合には、足して6で割るような、そういった組織をつくっているような町村もあるようです。そういうような形にしましたら、私どもの、いわゆる、すべてのものを捨てて1つの市になっていこうという、いままで皆様方がご理解し、あるいは培ってきたものが、そういう組織を一つつくることによって、果たしてどうなっていくかというような、大変心配があるわけでありまして。

大きな課題がまだまだたくさんございますけれども、これから合併協定調印式が3月24日に予定してございますけれども、それまでに皆様方と共にこういった問題につきましても、しっかりと議論させていただき、そして、前に進めさせていただきたいと思っております。

本日もよろしく願いいたします。

司会（中川啓次君）

ありがとうございました。

次に、次第の3番、議事ではありますが、協議会規約第9条によりまして、議長には会長をお願いしたいと思います。

荻野会長、よろしく願いいたします。

議長（荻野正直君）

それでは、司会の指示どおり議事に入らせていただきます。

スムーズな進行に、ご協力をよろしく願い申し上げます。

まず、報告事項でございますが、1番目の総務・企画小委員会の審議経過について、小委員会の中村委員長さんから報告をお願いいたします。

総務・企画小委員会委員長（中村長年君）

ご苦労さまでございます。

それでは、状況を報告いたします。

第12回総務・企画小委員会を1月16日に、境川村防災センターの会議室において開催いたしましたので、その審議状況についてご報告申し上げます。

始めに、協定項目23でございます、使用料及び手数料の取り扱いについてでございます。

本日、配付されました総務・企画23のシートになります。

総務・企画関係の使用料及び手数料につきましては、シートの1から2枚目の税関係諸証明の手数料と、シート2ないし3枚目の、その他の使用料及び手数料が主なものでございます。

各町村とも金額的にはほとんど差がない状況ですが、一部相違もございまして、内容等を精査した中で、合併時までには新市の手数料徴収条例等により、調整をしていくこととしております。

次に、継続審議となっております、協定項目10の一部事務組合の取り扱いについてでございます。

本日は、まだシートはお示ししてありません。

一部事務組合のうち東八代広域行政事務組合、及び東山梨行政事務組合で行っております業務につきましては、まだ方向性が出ておりません。それぞれの組合で協議が行われておりまして、また、調整につきましては、県市町村課、及び峡東振興局にお骨折りをいただいているところであります。事務局から、消防、斎場、介護認定審査会等につきましてはの現状報告が行われました。

今後、それぞれの当組合での協議状況を踏まえた中で、次回の小委員会におきまして方向付けをすることとし、引き続き継続審議といたしました。

次に、継続審議となっております、協定項目66-1、その他事務事業の取り扱いについてのうち、指定金融機関の調整について審議いたしましたので、報告申し上げます。

本日は、資料として提出しておりません。

指定金融機関につきましては、現在、各町村が指定しておりますが、新市においては統一を図り、一金融機関を指定金融機関として指定するため、6町村の収入役と担当職員による検討会議の報告等をもとに審議した結果、次回の総務・企画小委員会において方向付けをすることとなりました。

次に、協定項目17、慣行の取り扱いについての一部変更についてでございます。

シートは既に第3回の協議会において配付されてございます。

総務・企画17のシートになります。

慣行の取り扱いの中で、「市章、市民憲章、市の花、木、鳥及びキャッチフレーズについては、新市において公募等の方法により新たに定める。」という内容で、第4回合併協議会でご決定をいただいております。その中で市章、いわゆる市のマークについてであります。

これにつきましては、平成16年10月12日の開庁式などの式典や、封筒をはじめあらゆるところに市のマークが必要ではないか。また、このマークのもとに一体感の醸成も図られるのではないかと考えております。

新市の名称も笛吹市と決定しておりますので、合併までに定めておく必要があるのではないかとということで、「ただし、市章については合併までに定める。」と、変更することで確認いたしました。

なお、本日、後ほどご協議をお願いいたします。

以上、第12回総務・企画小委員会の審議状況の報告といたします。

議長（荻野正直君）

中村委員長さん、ご苦労さまでございました。

報告が終わりました。

何か質問事項がございますでしょうか。

（ な し ）

ないようですから、次に、報告第2号 合併準備室の設置について、事務局から報告いたします。

事務局次長（宮島茂君）

合併準備室の設置について、事務局から報告させていただきます。

本年、10月の笛吹市のスタートに向けて、電算システムの統合や庁舎の改修など、具体的な合併準備のための作業が増えてきました。そのため、この1月から合併準備室を設置していただきました。

資料の7ページをご覧ください。

これからは、7ページのこの体制で事務を進めていくことになりました。

なお、がついている職員が、新しく派遣していただいた職員であります。紙面だけの紹介であります、報告させていただきます。

あと1点、報告させていただきますと、実際問題、準備をしていくためには、当然ですが準備経

費がかかります。そのため石和町に「笛吹市合併準備特別会計」という名前の特別会計を設置していただきました。

必要経費につきましては、6町村の人口割で負担することとしまして、6町村の12月議会ですれぞれ議決をいただきました。当面、総額3億4千万円ほどの準備予算が確保されましたので、併せて報告させていただきます。

以上です。

議長（荻野正直君）

事務局の報告が終わりました。

合併協議会としての事務局と、合併準備としての事務局が併設という形で整備されたようになります。

ぜひしっかり準備に手抜かりのないよう進めていただきますよう、お願い申し上げます。

次に、報告第3号 その他であります、何かございますでしょうか。

事務局次長（宮島茂君）

事務局から、1点報告させていただきます。

新市の建設計画についてでございます。

新市の建設計画は、合併後10年間の計画でありまして、国や県から合併特例債などの起債の承認の根拠となる計画であります。

基本的には、新市の将来構想をベースにして作成することといたしております。

6町村の首長さんや議会の議長さんなどで構成される委員会で作成する手はずでありますけれども、この15日に会議を行いました。

今後は、県市町村課の指導も受けながら、詰めを行っていく予定でありまして、次回の協議会で承認をいただけるような予定で作業を進めておりますことを、報告させていただきます。

議長（荻野正直君）

事務局の報告が終わりました。

次に、協議事項に入ります。

まず、本日の協議事項第1号でございます、慣行（市章、憲章等）の取り扱いについてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長（宮島茂君）

本日の資料の1ページをご覧いただきたいと思っております。

先ほど、中村委員長さんからお話があったとおりでございます。

市章、市民憲章、市の花、市の木、市の鳥及び市のキャッチフレーズについては、新市において公募等の方法により新たに定めるとありますけれども、よく考えてみますと、10月12日のスタートのときには、例えば、封筒やらなんやら印刷をしなければなりません。あと10カ月ありますから、少なくとも市章、市のマークについては、この間にできるのではないかという考えであります。

したがって、波線のただし書きだけ付け加えて、再協議をしていただきたい。

「ただし、市章については合併までに定める。」

ということで、再協議をお願いするものでございます。

よろしく申し上げます。

議長（荻野正直君）

事務局の説明が終わりました。

何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

(な し)

ないようですので、事務局の案で決定してよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

それでは、協議項目17番目の慣行の取り扱いについては、本日の再協議により、事務局案のとおりということで決定いたします。

次に、協議第2号 使用料及び手数料(総務・企画関係)の取り扱いについてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長(宮島茂君)

本日の資料の2ページをご覧くださいと思います。同時に、本日お配りした、シート 23 . 使用料及び手数料(総務・企画関係)の取り扱い、その2枚を見比べながらお願いいたします。

先ほど、中村委員長さんから話がありましたけれども、これにつきましては、本日本配られたシートのとおりであります。

6町村とも、ほとんど横並びの額となっております。具体的には、新市の手数料条例にうたい込む形で、調整を図ることといたしております。

したがって、調整方針の案ですが、総務・企画関係の手数料については、合併時に新市の手数料条例等により調整をするというものでございます。

よろしくお願いいたします。

議長(荻野正直君)

事務局の説明が終わりました。

何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

(な し)

ないようですので、事務局の案で決定いたします。

次に、協議第3号 平成15年度歳入歳出予算の補正についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局次長(宮島茂君)

本日の資料の3ページ、4ページ、5ページになります。

それでは、5ページをお開き願いたいと思います。これが一番分かりやすいと思いますので、5ページで説明させていただきます。

今回の補正にかかる理由は、実は2つあります。

1つ目は、職員の増によります事務局費、つまり職員手当とか、一般消耗品とか、電話機の増設などに124万円かかると見込みました。この124万円の財源としまして、事業費の中から旅費を22万1千円、それから、一番下の予備費から101万9千円、合わせて124万円を事務局費に流用するものです。

あと1点は、実際の事業経費です。看板などのサイン計画に、全額、県費補助がいただけることになったもの。それから、調印式の経費、ここで言いますと、報償費の調印式時講師謝礼とか、需用費の80万円、調印式のイベント関係の委託20万円、合わせて120万円を見込みました。及び、引越し計画、実際、引越しの計画なども今からやっていかなければなりません。この引越し計画などの委託や、あとは電算システムの統一にかかる準備業務の委託費などで、これらにつきまし

ては、6町村から負担金をいただく中で予算化したものであります。

以上、よろしくお願ひいたします。

議長（荻野正直君）

事務局の説明が終わりました。

何かご質問、ご意見等ございますでしょうか。

（ な し ）

ないようですので、事務局案のとおり決定いたします。

次に、協議第4号 その他であります、何かございますでしょうか。

（ な し ）

ないようですので、以上をもちまして本日の議事を終了といたします。

ご協力ありがとうございました。

司会（中川啓次君）

荻野会長には、議長をご苦労さまでございました。

次に、次第の4番、次回の協議会日程について事務局より説明いたします。

事務局員（雨宮寿男君）

それでは、次回の協議会日程と、3月までの予定されているスケジュールについて、提案させていただきます。

まず、第1点ですが、次回、第14回合併協議会については、2月24日の火曜日、八代町総合会館で行いたいと思いますが、いかがでしょうか。

それから、それ以降でございますが、3月13日（土曜日）第15回合併協議会をスコレーセンターにおいて計画してございます。

それから、3月24日（水曜日）あとで説明させていただきますが、合併協定調印式をスコレーセンターで実施する予定でございます。

そこで、皆さんのお手元に、1枚裏表印刷されております、合併協定調印式要項の案がございますが、これについて簡単に説明させていただきます。

まず、日時でございますが、3月24日（水曜日）午前9時半～10時半という予定で計画しております。

会場は、このスコレーセンターの多目的集会場です。

それから、来賓、招待者につきましては、その資料の裏面のほうに一覧表としてございますが、県知事ほかということで、合計で399名をリストアップしてございます。まだこれから詳細の詰めを行ってまいりますので、多少、人数のほうに変動が出る可能性はございます。ご了承いただきたいと思ひます。

それから、調印者につきましては、町村長。

それから、立会人としまして、山梨県知事、町村議会議長、それから合併協議会委員全員ということでございます。

合併協議会委員の町村長、町議会議長を除く委員さんにつきましては、事前調印という形で、3月13日の第15回合併協議会の折に、協定書のほうに署名をお願いしたいと思ひます。

あと、記念行事として講演会の開催を予定してございます。

以上、調印式について

の説明を終わらせていただきます。

以上のようなスケジュールで今後進めていきたいと思ひますが、よろしくお願ひいたします。

司会（中川啓次君）

次に、次第の5番、その他であります、委員の皆様方、何かございますでしょうか。

（ な し ）

ないようでございますが、事務局からはいかがでしょうか。

（ な し ）

事務局のほうもございません。

それでは、ないようでございますので、本日の協議会を閉じたいと思います。

相互にあいさつを交わして終わりたいと思います。

皆様方、ご起立をお願いいたします。

相互に礼。

ご苦労さまでした。

閉会 午前10時30分

第13回 石和町、御坂町、一宮町、八代町、境川村、春日居町合併協議会 出席者

平成16年1月19日

【石和町】

荻野 正直
芦野 知夫
上野 稔
羽中田 弘己
荻野 勇夫
鈴木 貞夫
風間 雅子
嶋田 正雄

【御坂町】

小澤 栄真
矢野 一則
原田 徹
渡邊 芳直
岡 美枝子
渡邊 昂
古屋 栄
長尾 壮
小河内 英紀

【一宮町】

小宮山 文明
中川 一彦
萩原 正純
竹下 光広
岡 保和
石川 英雄
古屋 伸吾
水野 孝子

【八代町】

古屋 貞次
樋口 猛
風間 好美
中村 春樹
樋口 元治
前島 弘子
相澤 正子
小越 寿々務
武川 忠雄
松山 政夫

【境川村】

角田 義一
龍澤 敦
相澤 直樹
中村 長年
宮川 一英
宇佐美 常春
小澤 恒夫
角田 義澄
新田 治江

【春日居町】

金井 豊明
山本 富貴
山崎 光世
生原 英喜
飯田 勝丸
飯田 章雄
今澤 龍男
中村 喜光
茂手木 貴子
奥原 孝季